関西の特徴・課題と姿・戦略との関係

資料2

関西の特徴・課題 等

- ○長い年月にわたり多様な文化を創造し、今も創造し続けている歴史的風土
- ○多様で豊富な文化資産の蓄積（しかし、保全・活用が不十分）

- ○人口、経済力、都市基盤等の相当規模の集積
- ○個性ある都市・地域の存在
- ○多様で層の厚い産業の集積
- ●東京一極集中による弊害

- ○完全24時間運用の国際空港の存在
- ○世界最高水準の大学・研究機関の集積
- ○アジアとの密度の濃い人的・経済的・文化的繋がり

- ○琵琶湖の水環境対策など環境面での先進的な取組み
- ○地球温暖化京都会議等の開催による環境先進地としての高い知名度
- ○高度な環境技術の集積（太陽電池等）
- ●地球温暖化などの地球規模での環境問題

- ○京阪神地域は狭い平野・盆地と山地が連続した地形（高次の都市機能と豊かな自然が近接）

- ●人口減少と急速な高齢化の進展
- ○地方部における医療体制の崩壊危機

- ●東南海・南海地震等の大規模地震の発生の恐れ
- ○阪神・淡路大震災等の経験に伴う高い防災意識
- ○防災関連の国際機関・研究機関等の集積

目指す姿

1. 歴史・文化に誇りとこだわりを持って本物を産み育む圏域
- ○日本のアイデンティティの象徴圏域
- ○まちづくり、ものづくり、ひとづくりにおいて徹底して質にこだわり、新たな本物を創造する圏域
- ○各地に残る固有資源を核として個性あふれる地域づくりを行い、世界に誇れる歴史・文化圏域

2. 首都圏とは異なる多様な価値が集積する日本のもう一つの中心核
- ○多彩な文化、暮らし、産業が息づき、生活の豊かさが実現された首都圏とは異なるもう一つの中心核
- ○日本経済を牽引する核となり、東京一極集中を是正する役割を担う圏域
- ○我が国における「文化首都」としての役割を担う圏域
- ○非常時に首都圏のバックアップを担う圏域

3. アジアをリードする世界に冠たる創造・交流拠点
- ○京阪神都市圏が関西と周辺地域の人・モノ・情報・経済を牽引する圏域
- ○関西のエンジン産業として次世代産業やクリエイティブ産業を位置付け、関西の産業全体を牽引する圏域
- ○陸・海・空の人流・物流の総合交通ネットワークが確立されたアジア・ゲートウェイを担う圏域
- ○独創性豊かなイノベーションを生み出す圏域

4. 人と自然が共生する持続可能な世界的環境先進圏域
- ○環境先進圏域
- ○地球環境問題の解決に向け、世界に貢献する圏域
- ○流域圏を一体として捉えて環境再生に取り組む圏域
- ○循環型社会を実現する圏域

5. 都市的魅力と自然的魅力を日常的に享受できる圏域
- ○多様なライフスタイルが選択できる圏域
- ○大都市部は、個性を活かしながら、近畿圏や周辺地域をリード
- ○地方部は、持続的に発展する広域的な生活圏を形成
- ○農山漁村は、持続可能な地域社会を形成

6. 人々が自律して快適で豊かに暮らせる高福祉圏域
- ○近畿圏のどこに住んでも医療・教育・交通などの基本的な生活サービス機能を享受できる圏域
- ○子育てなどの面で多様な主体が地域全体で社会を構築する圏域
- ○高齢者、障害者など多様な人々が自由に社会に参画し、生き生きと暮らせる圏域

7. 暮らし・産業を支える災害に強い安全・安心圏域
- ○自然災害に強く、安心して生活し産業活動ができる圏域
- ○防災・減災分野における研究・教育と実務を兼ね備えた、国内及びアジア・太平洋地域に貢献する国際防災拠点

具体の戦略や事業・制度を検討する上で考慮すべき関西の特徴・課題、国土を巡る時代の潮流

【内的要因】

- ○情報収集・発進力が低下
- ○中山間地域において忍び寄る集落消滅の危機
- ○地方都市における中心市街地の空洞化
- ○国土軸から遠く離れた北近畿や紀伊半島
- ○都市部での交通混雑
- ○優秀な人材の首都圏・中部圏等への流出
- ○ものづくりを支える中小企業における後継者が不足（技術継承の危機）
- ○ものづくりを支える中小企業の集積地における住工混在した土地利用（良好な居住環境と操業環境の双方が悪化）
- ○都市化の進行によるヒートアイランド現象
- ○低い食料自給率
- ○大阪市やその周辺を中心に、住宅密集市街地が広がり（地震時などに大規模の被害が発生する恐れ）
- ○幹線道路の沿道における大気汚染や騒音などの環境問題
- ○ニュータウンのオールドタウン化
- ○低いエネルギー自給率
- ○活発な民による取組み
- ○関西全体としてのまとまりの不足

・・・等

【外的要因】

- ●グローバル化、東アジアの経済発展
- ●情報通信技術の発達

・・・等

戦略、事業・制度